

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	実用化へ向けた高解像度 3D カラー放射線イメージング技術の開拓
研究代表者	片岡 淳（早稲田大学・理工学術院・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、独自のガンマ線可視化装置により PET 解像度を 1mm まで向上させた実績に基づき、高精細シンチレータによる高解像度 3D カラー放射線イメージングの基盤技術を開発し、幅広く医療応用することを目指すユニークな研究である。</p> <p>臨床応用への実効性を高めるには画像診断専門医を欠くなど研究組織に懸念が示されるとともに、研究課題の絞り込みの必要性も指摘されたが、本研究は、基本的にオリジナリティーが高く時宜にかなっており、医療のみならず環境分野へも応用が期待される展望性ある優れた研究内容であることから、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>